

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成31年3月度)

対象期間:平成31年 3月 1日～平成31年3月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	34.71 (トン /月)
汚泥(有機性)	172.32 (トン /月)
廃油	94.78 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	590.09 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	7.37 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	58.71 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.55 (トン /月)
紙くず	18.24 (トン /月)
木くず	18.58 (トン /月)
繊維くず	46.64 (トン /月)
動植物性残渣	18.09 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	6.55 (トン /月)
廃酸	0.30 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	12.87 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	820.37 (トン /月)
合計	1,900.17 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1・2号炉二次燃焼室	1・2号炉ハグフィルター	1・2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

3月4日	3月7日	-	-	-
------	------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	37.14
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	25.79

熔融スラグ発生量

数量(t)
106.21

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成31年2月度)

対象期間:平成31年 2月 1日～平成31年2月 28日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	30.29 (トン /月)
汚泥(有機性)	351.85 (トン /月)
廃油	150.61 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	487.11 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	2.84 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	47.16 (トン /月)
廃発泡スチロール	2.44 (トン /月)
紙くず	10.40 (トン /月)
木くず	53.73 (トン /月)
繊維くず	17.04 (トン /月)
動植物性残渣	6.84 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.29 (トン /月)
廃酸	0.36 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	12.33 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	724.07 (トン /月)
合計	1,897.36 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	溶融炉内の温度
測定位置	1号炉二次燃焼室	1号炉バグフィルター	1号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

2月12日	2月20日	-	-	-
-------	-------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	2月22日	2月22日	2月22日	2月22日	2月22日
測定結果が得られた年月日	3月20日	3月20日	3月20日	3月20日	3月20日
測定結果	0.0000019ng-TEQ/m ³ N	ND	ND	12ppm	41ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	36.29
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.05

溶融スラグ発生量

数量(t)
125.48

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成31年1月度)

対象期間:平成31年 1月 1日～平成31年1月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	19.88 (トン /月)
汚泥(有機性)	252.45 (トン /月)
廃油	42.44 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	513.78 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	1.96 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	53.23 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.95 (トン /月)
紙くず	12.56 (トン /月)
木くず	42.92 (トン /月)
繊維くず	65.47 (トン /月)
動植物性残渣	10.23 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.31 (トン /月)
廃酸	0.49 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	14.50 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	894.49 (トン /月)
合計	1,926.66 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

1月17日	-	-	-	-
-------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	-	1月23日	1月23日	1月23日	1月23日
測定結果が得られた年月日	-	2月8日	2月8日	2月8日	2月8日
測定結果	-	ND	ND	10ppm	58ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	35.26
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	23.93

熔融スラグ発生量

数量(t)
174.38

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成30年12月度)

対象期間:平成30年 12月 1日～平成30年12月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	50.04 (トン /月)
汚泥(有機性)	296.06 (トン /月)
廃油	86.87 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	494.35 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	5.70 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	67.47 (トン /月)
廃発泡スチロール	1.60 (トン /月)
紙くず	10.53 (トン /月)
木くず	36.25 (トン /月)
繊維くず	33.68 (トン /月)
動植物性残渣	18.54 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.42 (トン /月)
廃酸	0.37 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	13.60 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	834.54 (トン /月)
合計	1,950.02 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

12月21日	-	-	-	-
--------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	-	12月19日	12月19日	12月19日	12月19日
測定結果が得られた年月日	-	1月9日	1月9日	1月9日	1月9日
測定結果	-	ND	ND	7ppm	53ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	57.54
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	33.28

熔融スラグ発生量

数量(t)
175.84

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成30年11月度)

対象期間:平成30年 11月 1日～平成30年11月 30日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	36.77 (トン /月)
汚泥(有機性)	183.40 (トン /月)
廃油	61.57 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	500.49 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	2.29 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	65.48 (トン /月)
廃発泡スチロール	1.65 (トン /月)
紙くず	17.77 (トン /月)
木くず	65.77 (トン /月)
繊維くず	36.49 (トン /月)
動植物性残渣	16.69 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.40 (トン /月)
廃酸	0.43 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	13.80 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	825.70 (トン /月)
合計	1,828.70 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	溶融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

-	-	-	-	-
---	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	11月16日	11月16日	11月16日	11月16日	11月16日
測定結果が得られた年月日	12月20日	12月20日	12月20日	12月20日	12月20日
測定結果	0.000018ng-TEQ/m ³ N	ND	ND	6ppm	61ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	60.21
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	40.02

溶融スラグ発生量

数量(t)
191.92

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](平成30年10月度)

対象期間:平成30年 10月 1日～平成30年10月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	19.10 (トン /月)
汚泥(有機性)	147.63 (トン /月)
廃油	54.42 (トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	422.70 (トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	2.05 (トン /月)
汚れ廃プラスチック	55.27 (トン /月)
廃発泡スチロール	0.31 (トン /月)
紙くず	14.00 (トン /月)
木くず	30.76 (トン /月)
繊維くず	13.71 (トン /月)
動植物性残渣	20.29 (トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.24 (トン /月)
廃酸	0.27 (トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	11.73 (トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	881.89 (トン /月)
合計	1,675.37 (トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1.2号炉二次燃焼室	1.2号炉バグフィルター	1.2号炉煙道	-
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	-
測定結果	別紙	別紙	別紙	-

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

10月18日	10月24日	10月25日	-	-
--------	--------	--------	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	24.28

熔融スラグ発生量

数量(t)
0